

案件概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 事業名	二つのモデル公立学校を対象にした学校歯科検診の仕組みづくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>モンゴル国における公立学校児童の歯科治療受診率は17%と低く、むし歯の悪化した児童の比率は83%と高い（2018年：ウランバートル市チンゲルテイ区の報告）ことから、政府は「健康な歯・健康な子ども」を掲げて、むし歯対策を進めている。</p> <p>むし歯罹患率が高い要因には、以下があげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の都市化に伴い、甘味や柔らかい食品の摂取が増え、食生活が変化している。 ・歯磨きの習慣や歯磨きの必要性に対する知識が欠けている。 ・時間と費用がかかるため、低所得層の児童は歯科治療を受けられていない。 <p>現状の学校歯科検診は、結果を記録し児童へ渡すのみに終わっている。検診データの集計・分析、治療や経過観察の必要な児童に対するフォロー等を行う仕組み作りが必要である。また学校と家庭を通じて「歯と口腔ケア」への理解と普及促進が重要である。</p>
4. プロジェクト目標	二つのモデル公立学校を対象として学校歯科検診の適切な運営管理体制が確立される。
5. 対象地域を管轄する大使館又は領事館	在モンゴル日本大使館
6. 本事業の対象となる人々	<p><直接受益者> 公立小学校（モデル2校：郊外No. 37・都市部No. 50）生徒（約4,400人）、学校長、学校医、教員職員、学校歯科検診担当歯科医師</p> <p><間接受益者> 地区教育委員会、地区保健センターの歯科医師、看護師、父兄、行政の関係者</p>
7. 事業活動	<p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つのモデル校で学校歯科検診の仕組みが確立する。 ・学校児童の口腔ケアの全体像が把握される。 ・課題が明確になりむし歯予防対策の実践が促進される。 ・国の施策「健康な歯—健康な子供」との連携協力が促進される。 <p><活動></p> <p>【学校歯科検診の仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科検診の集計表・分析表、検診マニュアルを作成する。 ・視聴覚教材ビデオを作成する（日本の学校歯科検診現場を参考。） ・歯科検診研修の実施により歯科医師、補助者、記録係を育成する。 ・カウンターパートを日本に招聘し学校歯科検診を体験・研修する。 ・モデル公立校における定期的な学校歯科検診を実施する。 ・検診結果を分析表にまとめ、一括保管する。 <p>【歯科検診継続に向けた実施体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科保健委員会を設立し、歯科検診の結果と分析を共有する。 ・歯科検診に必要な器具を供与し、効果的な活用方法を提案する。
8. 実施期間	2022年5月～2025年4月（3年0ヵ月）
9. 事業費	10,285千円
10. 事業の実施体制	<p><日本側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県市川市歯科医師会と協力し、多数の現役歯科医師の参画を得て、活動を進める。 <p>元 JICA モンゴル日本センター長経験し、国際支援事業を担当する人員を配置する。現地コーディネーターには、日本の留学経験を有する歯科医師を配置する。</p> <p><モンゴル国側></p> <p>相手国政府関係機関：ウランバートル市、カウンターパート機関：チンゲルテイ区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科検診モデルの継続運営に必要な人員配置と費用を負担する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	認定 NPO 法人健康都市活動支援機構
2. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康推進に係る国内外団体との交流・連携、調査等の支援、普及・啓発に係る事業 2. 健康の推進に係る講習会等の開催、出版物等の発行、Web サイトによる情報公開 3. 医療及び福祉施設等の施設整備・運営支援、調査・研究・普及・啓蒙に係る事業 4. 健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業